



TOKYO OLYMPIC 2016

晴海オリンピックスタジアム門前町計画

～水とみどりとスポーツのまちづくり～

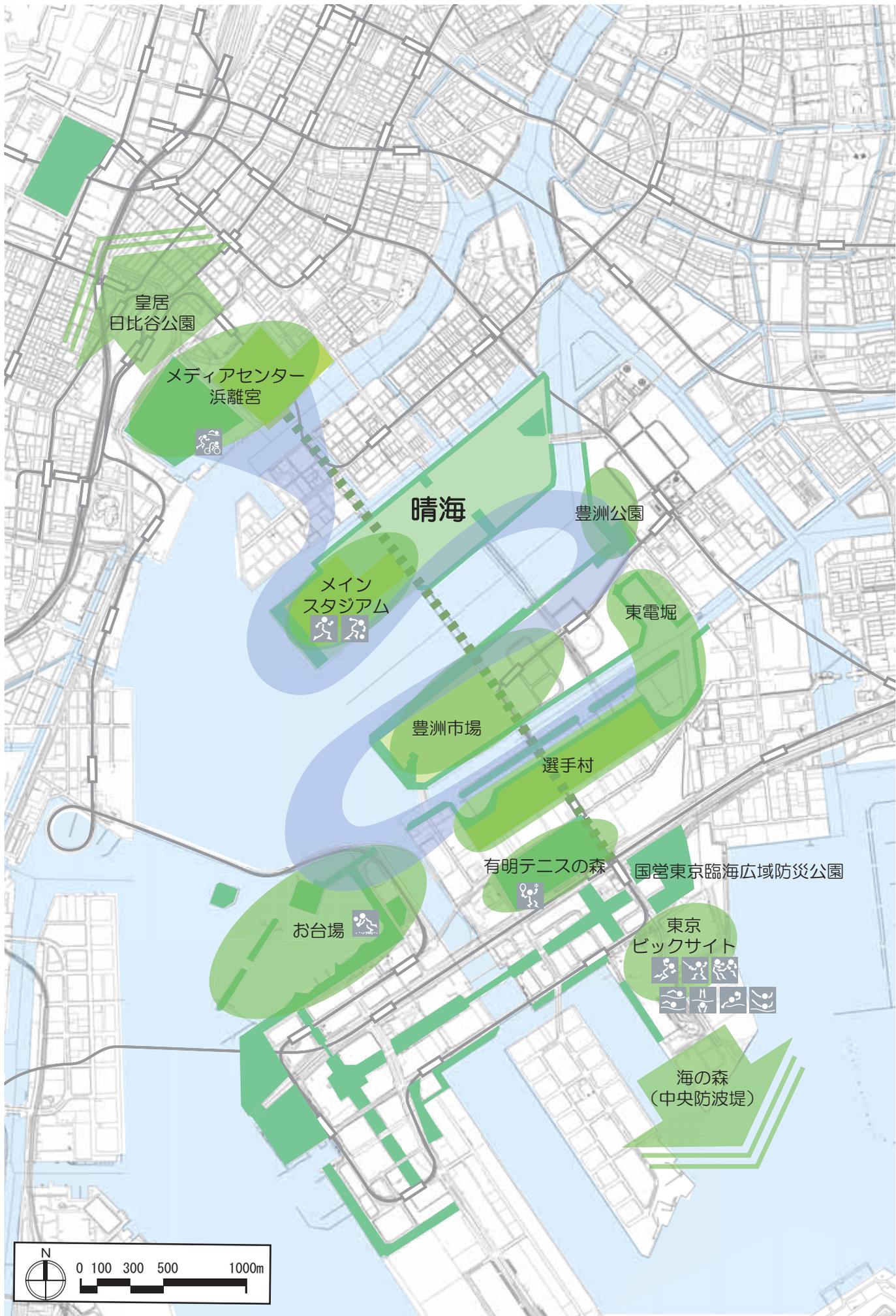


晴海をよくする会

わたしたちは、オリンピック開催に向けた都市づくりを通して、**海と都心を結ぶ「水とみどりと風の回廊」**を創ります

晴海アイランドはその中核として、世界中からの人々が、**住み、働き、遊び、競う、いままでにないスタジアム**駅前町となります

スポーツを通じて結ばれる世界のネットワークの拠点として、**オリンピックスタジアム**を活用します



皇居
日比谷公園

メディアセンター
浜離宮

晴海

豊洲公園

メイン
スタジアム

東電堀

豊洲市場

選手村

有明テニスの森

国営東京臨海広域防災公園

お台場

東京
ビックサイト

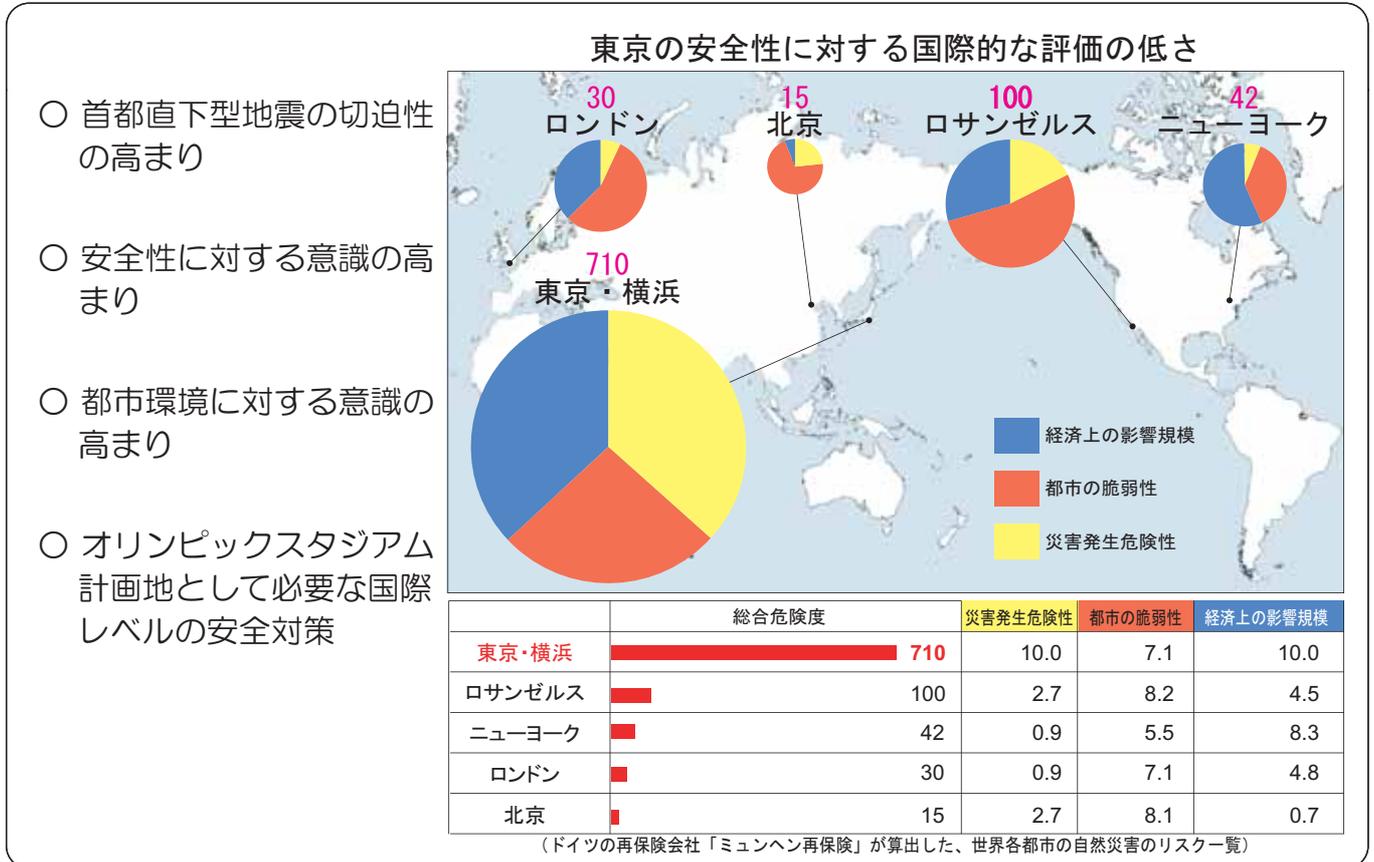
海の森
(中央防波堤)



「日本一災害に強い街」でオリンピックを

- ・ 地震などの自然災害に備え、晴海全島の早期整備を進めます
- ・ 国際レベルの安全性を確保し、高度なセキュリティ環境を整えます

東京における社会動向



晴海アイランドの計画目標

①災害時のライフラインの安定供給

- ・ 首都直下型地震などの自然災害に備えた、豊洲のガス・電気の供給源から、災害時に安定供給するインフラ幹線の整備
- ・ 通信基地や清掃工場の廃熱の災害対策への活用

②防潮機能の早期整備

- ・ 新しいオリンピック施設を高潮から守るため、晴海全島の防潮機能を早期に整備

③高度なセキュリティ環境で迎えるオリンピック

- ・ 海に囲まれた島であり埠頭機能も有することから、国際レベルの高度なセキュリティ環境を整備

④国際的な安全ブランド「晴海」の確立

- ・ 都心近接の立地を活かし、大会後も、世界的な企業が集まり、高感度のライフスタイルを持った人々が居住する、国際レベルの安全ブランドの確立

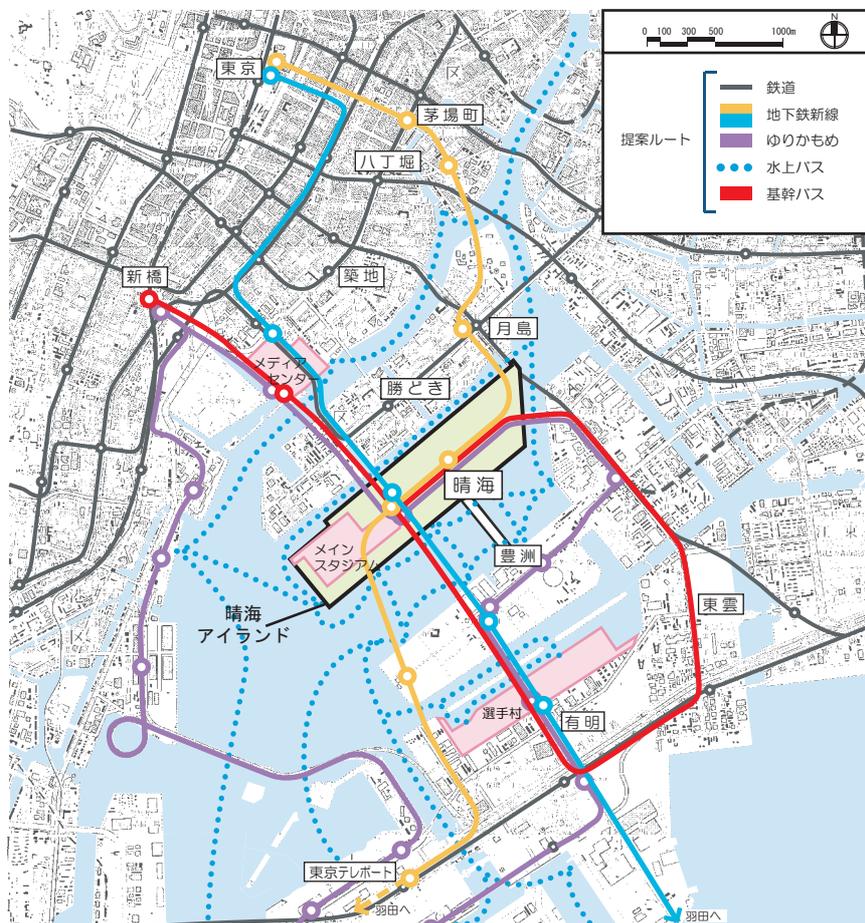
10万人規模のメインスタジアムに必要なマストラの提案

10万人の人々を迎え入れるため、陸・海・空の交通結節点となります

①環状2号線開通にあわせ、都心と直結する新LRTの運行 

②ゆりかもめの都心延伸 

③オリンピック主要施設と羽田空港、成田空港、東京駅を直結する地下鉄 



広域ネットワーク図



新LRT(基幹バス)のイメージ
(アイントハーフェン)



地下鉄イメージ



空港との直結

アジアのスポーツ拠点を創る

世界中からの人々が住み、働き、遊び、競う、
今までにないスタジアム駅前町をつくります

ビジネスセンター ～世界的な企業が集まる

スポーツ・ビジネスゾーン～

- ・スポーツ・ビジネスをはじめとした世界企業が集まる国際レベルの安全性が確保されたビジネスセンター
- ・地下鉄新線と直結した便利で快適なまちの形成



地下鉄・ビジネスセンターの直結したイメージ



晴海アイランドトリトンスクエア

オリンピックスタジアム通り

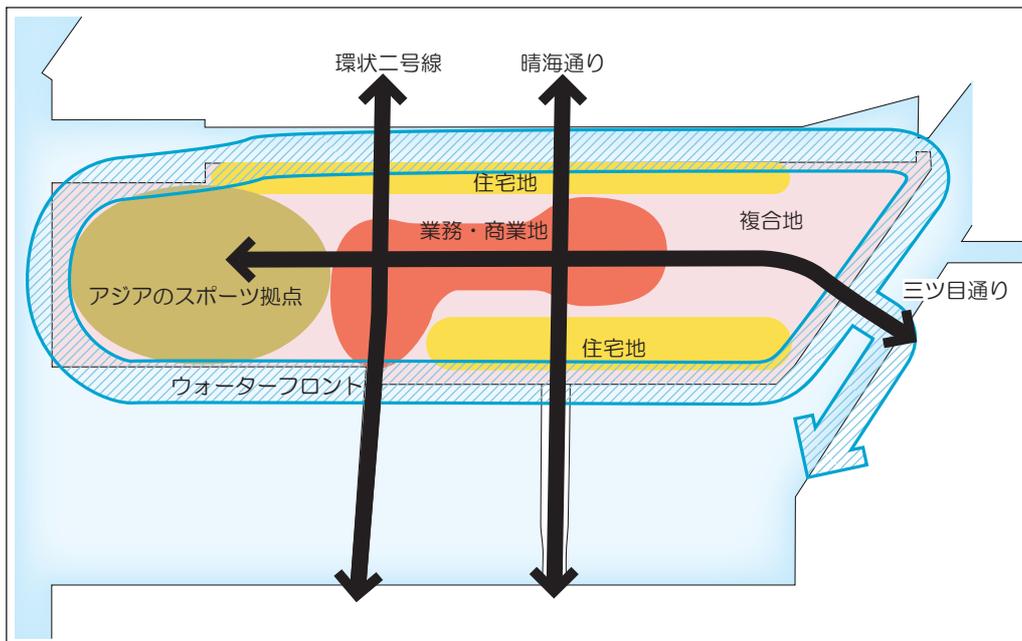
～大会の顔にふさわしい、

緑と賑わいのプルバール～

- ・ケヤキ並木を活かし、にぎわいの街並みを形成
- ・歩道でのオープンカフェ、イベント等により、世界の人々をもてなす沿道空間の形成



沿道のにぎわいのイメージ（バルセロナ）



アジアのスポーツ拠点

～スタジアムとともに発展していく
複合的なまち～

- ・大会後もスポーツ拠点の運営に積極的に参加
- ・清掃工場のエネルギー源を複合的に活用



オリンピックスタジアムのイメージ
(出典：東京都「第31回オリンピック
競技大会開催概要計画書」)

オリンピック記念公園

～銀座・築地からお台場まで連続した
海と水辺に親しむスポーツ公園～

- ・海に囲まれた晴海アイランドのウォーターフロントを、水とみどりの連続した“憩いの場”に



ウォーターフロント空間のイメージ
(アムステルダム)

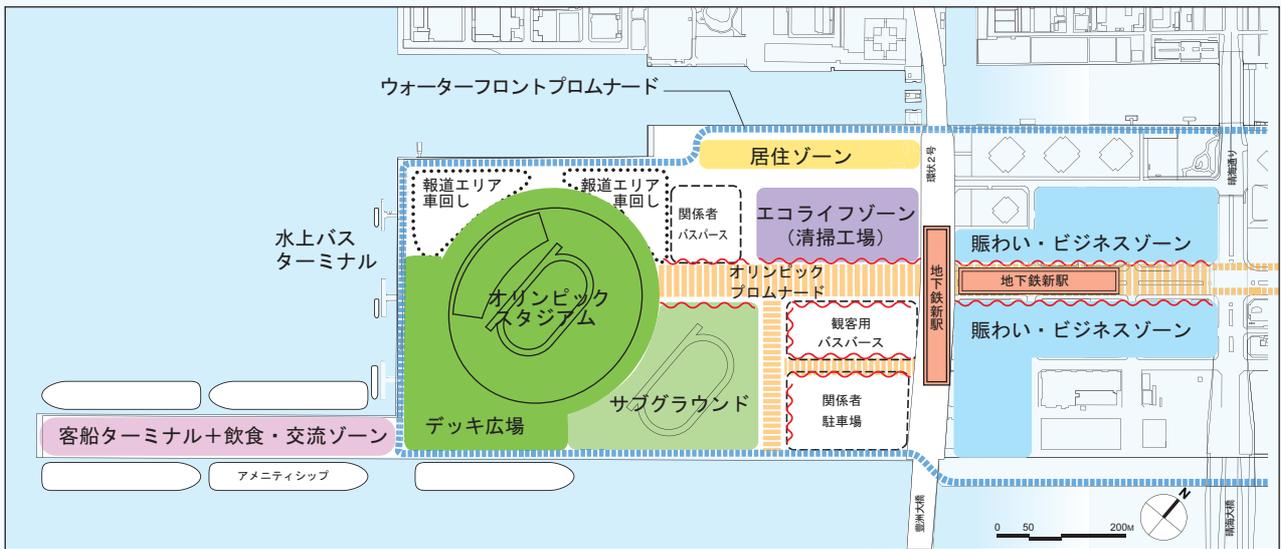
民間が投資しやすい計画づくり

- ・ 晴海の都有地の高度利用し、オリンピックスタジアムや地下鉄整備に民間が投資しやすい計画づくりを提案します
- ・ オリンピック施設を民間で運営し、大会後のまちづくりまで見据えたタウンマネジメントを行います

オリンピック開催中

客船ターミナルの海上移設

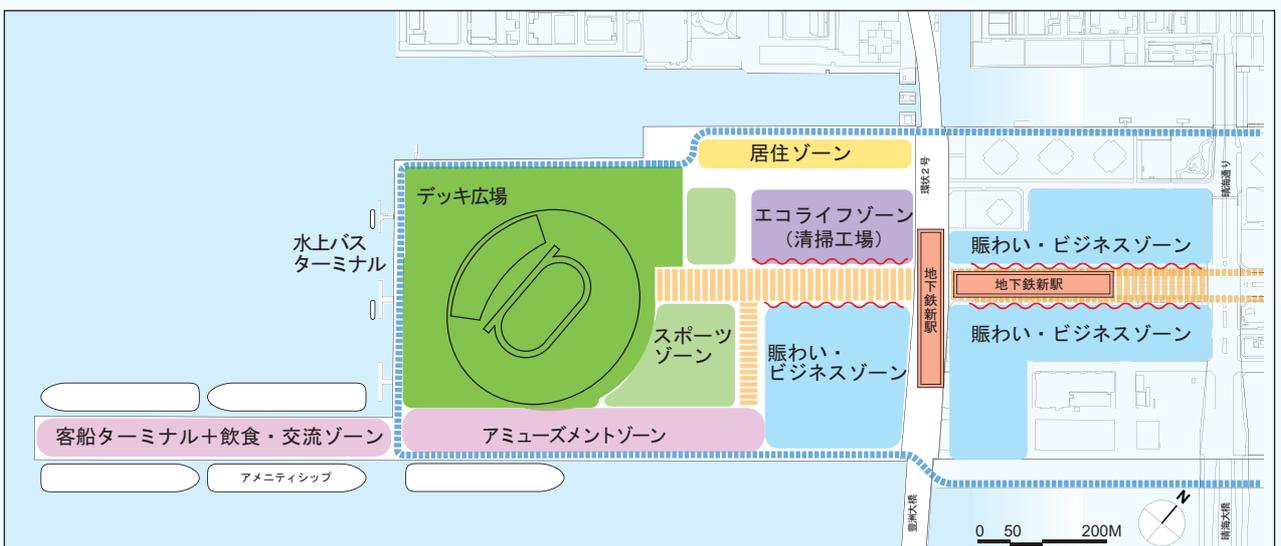
- ・ スタジアム周辺にゆとりが生まれることで、関連施設の充実が可能となります
- ・ 大会中・大会後も大型客船をホテルに利用して、スポーツを楽しむことができるようになります。



オリンピック開催後

大会後仮施設の用地はビジネスゾーンとして高度利用

- ・ オリンピック後不要となる用地を先行的に売却する事で、オリンピック関連施設整備費の一部に充当する事が可能となります
- ・ スポーツを通じて結ばれる、世界のネットワークの拠点としてスタジアムを活用します



晴海をよくする会の活動経緯

「晴海をよくする会」は、東京臨海部の晴海地区の法人地権者を中心に結成された任意団体（会員数34社）で、1984年の発足以来「自らの手によるまちづくり」を理念として活動を続けております。

当会では、まちづくりのマスタープラン「晴海アイランド計画」を作成し、その実現に努めるとともに、行政機関等への働きかけ等を行ってきました。2001年には、先行プロジェクトの「晴海アイランド・トリトンスクエア」がオープンし、まちのマネジメント段階に入っております。2丁目は区画整理事業、3丁目は住宅再開発とオフィス計画が進められています。

今般の東京都の計画では、晴海地区はオリンピックスタジアムの建設予定地に位置づけられております。当会は東京オリンピックを歓迎し、周辺地域の関連団体等とも連携しながら、オリンピック招致を応援していきます。



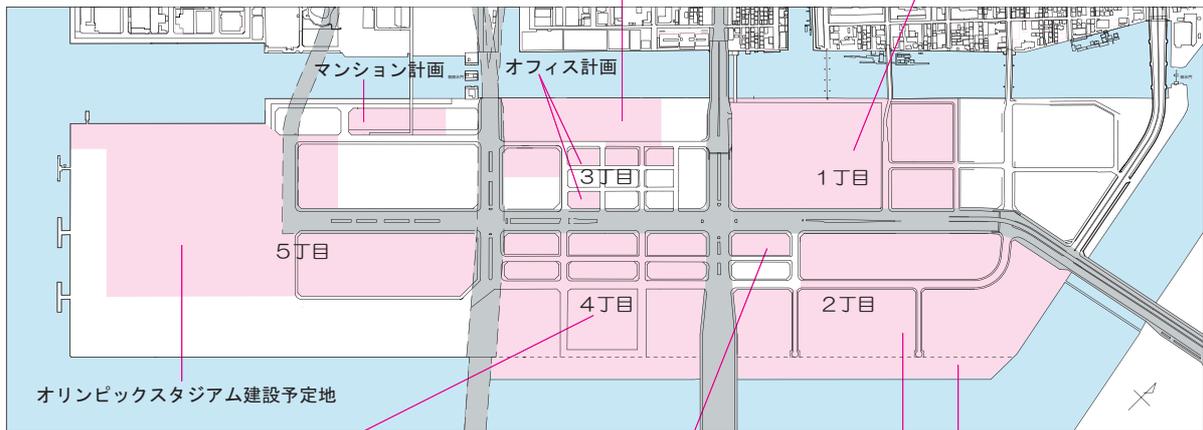
晴海3丁目オフィス計画イメージ
(平成19年度竣工予定)



市街地再開発事業イメージ[UR都市機構施行]
(平成25年度完了予定)



晴海アイランドトリトンスクエア
(平成13年4月グランドオープン)



(株)晴海4丁目まちづくり企画が提案する将来イメージ



(仮称)晴海センタービル
(平成18年11月末竣工予定)



土地区画整理事業[組合施行](平成23年度完了予定)
防潮護岸の整備
(平成18年度完了予定)



掲載写真

表紙写真 オリンピックスタジアムのイメージ
〈出展:東京都「第31回オリンピック競技大会開催概要計画書」〉

P3 図 東京の安全性に対する国際的な評価の低さ
〈出展:中央防災会議「首都直下地震対策門調査会」第1回資料をもとに作成〉

P5 写真 晴海アイランドトリトンスクエア
(撮影:エスエス東京)
写真 オリンピックスタジアムのイメージ
〈出展:東京都「第31回オリンピック競技大会開催概要計画書」〉

裏表紙 写真 晴海3丁目オフィス計画イメージ
(清水建設(株))

写真 市街地再開発事業イメージ
(都市再生機構)

写真 晴海アイランドトリトンスクエア
(撮影:エスエス東京)

写真 晴海センタービル
(三菱地所(株))

晴海をよくする会

会長 江間洋介 江間忠木材(株) 代表取締役会長

正会員 27社

- ・NTT都市開発(株)・江間忠木材(株)・大塚倉庫(株)・(株)大林組・鹿島建設(株)・(株)川久・サッポロビール(株)
- ・清水建設(株)・鈴江コーポレーション(株)・住友商事(株)・全日本海員組合・第一生命保険(相)
- ・大成建設(株)・太平洋セメント(株)・東京鯉節類卸商業協同組合・東京電力(株)・東京トヨペット(株)
- ・(株)東日カーライフマネージメント・東洋埠頭(株)・独立行政法人都市再生機構・(株)日本建築センター
- ・日本水産(株)・(株)晴海コーポレーション・東日本電信電話(株)・(株)町田ひろ子アカデミー・丸正運輸(株)
- ・三菱地所(株)

準会員 7社

- ・ソフトタウン晴海管理組合・東京税関・(財)東京船員厚生協会・(財)東京港埠頭公社
- ・特定非営利活動法人 トリトン・アーツ・ネットワーク・日本郵政公社・菊栄不動産(株)

お問合せ先
〒104-6591

晴海をよくする会事務局

東京都中央区明石町8番1号 聖路加タワー 37F UR都市機構内
TEL03-3248-8138 FAX03-3248-8081

[ホームページ] <http://www.harumi-island.com>